



北海道・札幌市
政策研究
みらい会議

2015 年度

活動実績報告書

■ 目次

1 北海道・札幌市政策研究みらい会議とは	1
2 平成27年度活動経過	2
3 会議開催実績	3
4 取組実績	4
(1) 和寒町「ペポオイル」開発に係る意見交換会	4
(2) クラウドファンディング勉強会	5
(3) 女性勉強会「ハッピートーク®」	7
(4) 朝活！奥が深い小麦の世界－札幌圏産地麦パン食べ比べ交流会－	8
(5) 北海道コスメ体験ワークショップ	9
(6) 外国人留学生等対象「雪はねツアー in 上富良野町」	11
(7) オープンデータ勉強会	13
(8) Facebookページの開設・運営	15
5 今年度の活動を終えて	17

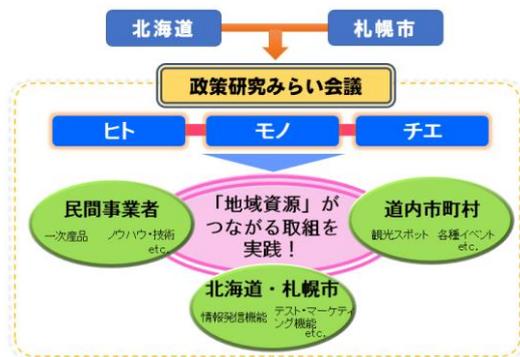
1 北海道・札幌市政策研究みらい会議とは

「北海道・札幌市政策研究みらい会議」（以下、「みらい会議」）は、北海道知事と札幌市長が意見交換を行う「北海道・札幌市行政懇談会」において合意され、平成 25 年 8 月に設置された、北海道と札幌市の若手職員で構成する分野横断的なプロジェクトです。

「両組織間の未来を担う人的ネットワークの充実」、「次代の活性化につながる地域政策の創造」を目的として、両組織のメンバー自らが組織を越えて共に取組を実践し、課題・可能性を探究することで、「未来へツナガル種」を蒔いていきます。

運営方針

地域資源をつなげる複数分野の取組を、自ら実践することで、「資源価値の向上」や「交流人口の増加」といった北海道の発展につながる可能性を探究する。



平成 27 年度構成メンバー

○北海道（7名）

所 属	氏 名
総合政策部政策局	山本 雄児
総合政策部交通政策局交通企画課	藤田 知樹
総合政策部地域主権・行政局地域主権課	三上 尋恵
経済部地域経済局国際経済室	渡部 美紀
農政部食の安全推進局食品政策課	千葉 律子
建設部建築局計画管理課	佐々木 智和
石狩振興局産業振興部農務課	中村 考志

○札幌市（6名）

所 属	氏 名
市長政策室政策企画部企画課	石山 大介
市長政策室広報部広報課	井上 雪乃
経済局国際経済戦略室海外戦略推進課	上田 望
観光文化局観光コンベンション部観光企画課	足立 武資
観光文化局スポーツ部企画事業課	数田 光嘉
南区市民部総務企画課	佐藤 大志

2 平成 27 年度活動経過

年月日	内 容
H27.6～	メンバー選定
7.31	第 1 回会議開催
8.12	第 2 回会議開催
9.10	第 3 回会議開催
9.28	Facebook ページ開設
10.15	和寒町「ペポオイル」開発に係る意見交換会
10.27	クラウドファンディング勉強会
11. 4	女性勉強会「ハッピートーク®」
11.27	朝活！奥が深い小麦の世界－札幌圏産地麦パン食べ比べ交流会－
12.14	第 4 回会議開催
H28.1.28	北海道コスメ体験ワークショップ
2.13	外国人留学生等対象「雪はねツアー in 上富良野町」
2.19	オープンデータ勉強会
3.18	第 5 回会議開催

3 会議開催実績

○第1回会議

日時 平成27年7月31日(金) 16:00~17:30
場所 札幌市役所地下1階4号会議室
内容 ・事務局(北海道総合政策部政策局、札幌市市長政策室政策調整課)からメンバーに対し、みらい会議趣旨等について説明。
・メンバー間の自己紹介。
・今年度のみらい会議の進め方について確認。
・次回会議までに今年度実施したい取組の企画案を提出することとした。

○第2回会議

日時 平成27年8月12日(水) 15:00~18:00
場所 北海道庁4階共用会議室
内容 ・各自、企画案について発表。
・企画の趣旨、内容、実現性などについてディスカッションし、実施する事業候補を選定。
・メンバーを事業ごとに班分けし、次回会議までに企画をブラッシュアップすることとした。

○第3回会議

日時 平成27年9月10日(木) 15:00~18:00
場所 北海道庁2階総合政策部共用会議室
内容 ・第2回会議後に各班でブラッシュアップした企画について説明。
・各事業の実施時期を調整し、年間スケジュールを確定。

○第4回会議

日時 平成27年12月14日(月) 16:00~18:00
場所 北海道庁9階職員監会議室
内容 ・11月までに実施した取組について検証。
・今後の取組に関する進捗状況を確認。

○第5回会議

日時 平成28年3月18日(金) 14:00~16:00
場所 北海道庁別館4階石狩振興局中会議室
内容 ・12月以降に実施した取組について検証。
・今年度の取組全体について事務局(北海道・札幌市)へ報告。
・来年度に向けた引継ぎ所の作成等について確認。

4 取組実績

(1) 和寒町「ペポオイル」開発に係る意見交換会（H27.10.15 開催）

■目的

地域の新たな特産品の開発について、民間企業をまじえた意見交換会を実施し、地域資源を磨きあげる手法等について学ぶ。

■取組内容

札幌市の調味料専門店（ウッフィーズ株式会社）とタイアップし、和寒町が新たな特産品として開発している「ペポオイル[※]」のマーケティング戦略等について意見交換を実施。後日、意見交換会の内容を報告書にまとめ、和寒町へ提出。

■参加者

- ・みらい会議メンバー（11名）
- ・和寒町職員（2名）
- ・ウッフィーズ株式会社スタッフ（3名）



■成果

- ・新たな特産品を開発する地域と、販売や自社で商品開発を行う事業者をつなげることができた。
- ・調味料のプロの視点から、マーケティング戦略や流通の実情など、ビジネスに関する多様なお話をいただき、メンバーにとって貴重な経験となった。
- ・「ペポオイル」の開発について、みらい会議メンバーが消費者の目線から意見を出し合うことは、行政の事業に置き換えると、道民・市民目線で事業内容や効果を検討することとなり、そうした意識の大切さに改めて気づくきっかけとなった。

※ペポオイル

「ストライプペポ」という品種のかぼちゃの種を搾油してつくる食用オイル。

(2) クラウドファンディング勉強会 (H27.10.27 開催)

■目的

クラウドファンディングを活用した地域活性化の事例を学び、地方創生におけるクラウドファンディングの有用性等について考える。

■取組内容

札幌市内のクラウドファンディング運営事業者（株）ACT NOW）とクラウドファンディングの活用実績のある夕張サッカー協会の職員を講師に招き、勉強会を実施。

○特別講演「クラウドファンディングで、ものづくり×ファンづくり×人づくり」

講師：（株）ACT NOW 代表取締役 杉山 央 氏

○活用事例紹介「天然芝グラウンドに新しいサッカーゴールを！」

講師：夕張サッカー協会事務局長 三浦 護 氏

■参加者

- ・北海道職員（30名）
- ・札幌市職員（35名）
- ・北海道、札幌市を除く道内自治体職員等（29名）
- ・みらい会議メンバー（12名）



■成果

- ・参加案内を全市町村に広げたことで、多くの自治体職員等に参加していただき、各地域でのクラウドファンディング活用の「タネ」を蒔くことができた。
- ・勉強会後に、参加者がそれぞれの業務の中で、関連する団体等に対し、クラウドファンディングの活用について情報提供を行っている事例がいくつか出てきている。

参加者の声

○クラウドファンディングの活用アイデア（事後アンケートより）

分類	所属	内容
施設・備品	札幌市	小樽ドリームビーチの運営費（リターンはプライベートビーチの設定）
施設・備品	札幌市	防火・防災啓発事業や消防装備品の購入
施設・備品	北海道	公共交通機関において直接収益に結びにくく後回しになりやすい設備の整備 （バリアフリーのための車両改造、待合室の整備など）
施設・備品	小樽市	老朽化した施設（犬舎）の立替費用（ボランティア団体との共働）
施設・備品	札幌市	若年貧困層向けの職・住一体型職業訓練施設の設置
施設・備品	小樽市	小樽駅にガラスのモニュメントを作る
施設・備品	北海道	B&Bあるいはゲストハウス開設を目的とした古民家改修
施設・備品	札幌市	リノベーションを通じて、市民のまちづくりへの参画を促す
イベント	北海道	道外の大学生が利尻・礼文島でフィールドワークを行い、地域活性化を図る
イベント	YOSAKOI	YOSAKOIソーラン祭りを通じた地域活動・チーム活動の応援
イベント	札幌市	さっぽろ雪まつりの大雪像制作
イベント	帯広市	帯広の「ばんえい十勝」のファン獲得
イベント	札幌市	映像関連事業者が札幌・北海道で撮影する際の資金調達
イベント	札幌市	地域の特産物を活用した料理教室
イベント	北海道	地域のお祭りの神輿作りに活用し、リターンはお祭りへの招待・神輿に名入れ
イベント	札幌市	空き家を活用した、地域コミュニティ活動の場の整備
イベント	北海道	北海道命名150周年（2018年）に向けての映画
仕組み	北海道	海外（姉妹都市）への農水産物等輸出のためのアンテナショップ開設
仕組み	石狩市	ふるさと納税+クラウドファンディング+地域の教育（ICTや奨学金制度）
調査	北海道	100~1000円程度の少額で多数の支援を募り、マーケティング調査として活用

(3) 女性勉強会「ハッピートーク®※」(H27.11.4 開催)

■目的

女性職員を対象とした自己啓発と交流の場を設け、女性がいきいきと活躍できる環境づくりにつなげる。

■取組内容

ハッピートークトレーナー®の札幌市職員を講師に招き、コミュニケーション力を高める話し方のコツやポイントを学び、実践的なトレーニングを実施。

○ハッピートーク®を用いた仕事に役立つ話し方のコツ

講師：札幌市市長政策室広報部広報課広報係長 湯浅 真樹 氏

■参加者

- ・北海道職員（10名） ・札幌市職員（14名）
- ・みらい会議メンバー（5名）

〔 ※その他、勉強会の会場をご提供いただいた大地みらい信用金庫から3名の方に飛び入りで参加していただきました。 〕



■成果

- ・女性同士で気兼ねなく北海道と札幌市職員が情報交換できる交流の場を提供し、自己啓発の意欲向上に貢献することができた。
- ・また、参加者アンケートの結果からも、女性職員の交流機会が求められていることが分かり、今後継続的に実施していくことにより、みらい会議の目的の一つである「両組織間の未来を担う人的ネットワークの充実」の強化が期待できる。

※ハッピートーク®

自分がポジティブな言葉を使うことで、相手も自分も気持ちよく意思疎通ができる会話手法

(4) 朝活！奥が深い小麦の世界-札幌圏産地麦パン食べ比べ交流会-(H27.11.27 開催)

■ 目的

朝の時間を有効活用し、札幌圏産地麦でつくられたパンの魅力を知るとともに、職員の交流を深める。

■ 取組内容

札幌市内の札幌圏産地麦推進に取り組んでいるお菓子の「ドルチェヴィータ」に協力をしてもらい、交流会を実施。

○札幌圏産地麦の特徴や取組について

講師：札幌広域圏組合 若澤 路子 氏

○異なる札幌圏産地麦を使用した食パン3種食べ比べ・解説

講師：お菓子の「ドルチェヴィータ」オーナーシェフ 安孫子 政之 氏

○パンを囲みながら交流会

■ 参加者

・北海道職員（19名） ・札幌市職員（22名） ・みらい会議メンバー（11名）



■ 成果

・交流会では、参加者内で活発な意見交換が行われ、札幌圏産地麦の普及推進及び北海道職員・札幌市職員の人的ネットワーク構築の一助となった。朝時間という設定も、申込開始2日間で定員に達したこと、悪天候にも関わらず当日欠席者もいなかったことなどから、朝時間の活用に一定のニーズがあることが分かった。

(5) 北海道コスメ体験ワークショップ（H28.1.28 開催）

■ 目的

北海道コスメを実際に体験し、理解を深めるとともに、北海道コスメの魅力発信について検討する。

■ 取組内容

北海道コスメ協会及び同協会協力企業とタイアップし、道と市の職員を対象に道産コスメを体験するワークショップを開催。後日、北海道コスメマップを作成し、webに掲載。

○道産原料を用いた保湿クリームの作製

講師：(株)シー・ビー・エス代表取締役 圓田 照夫 氏

○ハンドケアエステ体験（北海道純馬油本舗(株)）

○北海道コスメ商品体験コーナーの設置 ○北海道コスメサンプルの配付

■ 参加者

・北海道職員（5名） ・札幌市職員（9名） ・みらい会議メンバー（7名）



■ 成果

・体験型の企画としたことで、参加者に北海道コスメの魅力を楽しみながら自身の肌で実感していただくとともに、北海道産原料の食料品以外の分野での活用について知っていただくことができた。

・ワークショップ参加者からは、北海道観光プランと製造工場見学をあわせてみてはどうか、などのアイデアもあり、北海道コスメの観光資源としての可能性も見いだすことができた。

北海道コスメマップの作成

- 札幌市公式観光サイト「ようこそさっぽろ」内にリンク掲載
- 地下鉄大通駅 ふれあい広場に設置



北海道コスメマップ

北海道の食材は国内外でも認められている、安心して安全な産物です。北海道コスメは、そんな北海道産の食材を原料として使っている基礎化粧品。北海道の雄大な自然が生み出した恵みを、あなたの肌でも感じてみませんか？

詳しい商品情報やお取扱店はこちら！
<http://hokkaido-cosme.org/>



北の輝きクリーム クリミナ
飾セピア



名寄市の広大なヒマワリ畑のヒマワリから抽出したオイルはオレイン酸とビタミンEが豊富で、敏感肌の方でもご使用いただけます。

¥2,000

ゴチソープ
飾MARVELOUS



旭川市の濃厚で脂肪分が多いジャージー牛のミルクを使用しており、高保湿でクリーミーな泡立ちとしっかりと洗いがりを実感できます。

¥800

オホーツクカモミール スキンクリーム
農業法人有保会社普遊生活



北見市の自社有機農場でオーガニック栽培し、丁寧に手摘みした有機カモミールから抽出したカミツレエキスは保湿効果抜群です。

¥2,400

イナースリップクリーム L+
飾シー・ビー・エス



高良野のみまわり、ラベンダーから抽出したヒマワリ種子油、ラベンダー花エキスが唇に潤いを与えます。

¥800

唐松石鹸
飾はくでんアソシエ



十勝産カラマツから抽出した天然保湿成分カラマツ木エキスは、潤いを守りながら肌を清潔に保つことができます。

¥950

ナチュラルケア美容ジェル
ナチュラルケア飾



北海道産サケの白子から抽出した核酸成分、オリゴDNAが潤いとハリ・弾力をもたらします。

¥2,000

①ピュアホワイトQ10プレミアムローズ
②保湿プレミアム馬プラセント美容液
北海道純馬油本舗飾




①国内産の馬油は安心安全で保湿力が高く、敏感肌の方でもご使用いただけます。
②北海道産サプレッドの胎盤のみ使用しており、弾力のあるハリのある肌になります。

¥3,500 ¥15,000

Ancoco (あんこ)
オールインワンジェルさっぱり
飾クロワール



和菓子材料として有名な十勝産小豆には、多くのポリフェノールが含まれており、特に赤色色素のアントシアニンはお肌にハリとツヤを与えます。

¥2,500

© 2015 北海道・札幌市政策研究みらい会連/北海道コスメ協会

(6) 外国人留学生等対象「雪はねツアー in 上富良野町」(H28.2.13 開催)

■目的

札幌近隣で生活している外国人（特に留学生）が、地域住民と一緒に雪国の風物詩である「雪はね」を体験することで、地域での雪はね体験が外国人に魅力のある観光資源となるか、可能性を探る。

また、雪はね体験を通じて地域住民と外国人との交流を促進し、地域住民側の外国人に対する理解を深め、インバウンドの受け入れについて考えるきっかけとする。

■取組内容

一般社団法人 北海道開発技術センターが主催している「都市と地域の交流」を目的とした雪はねツアーと連携。みらい会議で募集した札幌在住の留学生等が当該ツアーに参加することで、外国人と地域住民との交流を促すとともに、雪はね体験が外国人に魅力のある観光資源としての価値があるかを探る。

■参加者

- ・みらい会議メンバー（4名）
- ・外国人留学生等（7名）（アメリカ2名・韓国2名・シンガポール2名・ロシア1名）
- ・上富良野町の住民（6名）、その他ツアー参加者（一般の方等）（21名）



■成果

・アンケートの結果、参加した外国人の約7割から、雪はねツアーが「魅力のある地域の観光資源になる」との声をいただいた。また、8割の参加者が外国の家族や友人に雪はねツアーを勧めたいとのことであり、雪はねツアーには外国人に魅力的な観光資源としての価値があるといえる。

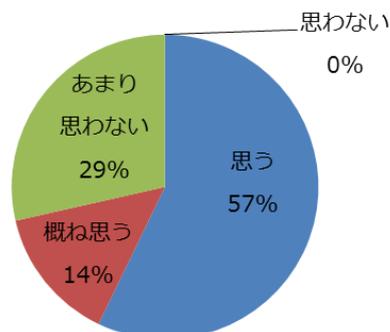
・「地域の方やツアー参加者と交流できるだけでなく、訪れた地域の文化を理解するよい機会になる」との声があり、雪はね体験は国際交流に資すると言える。

・地域の方からは、外国人が雪はねツアーに参加することで、「今後も増加すると考えられる訪日外国人への対応の参考になる」などの声が聞かれた。

参加者の声

○「雪はね」は外国の方にとって、地域の魅力的な体験メニューになると思いますか？

	人数	割合
思う	4	57.1%
概ね思う	1	14.3%
あまり思わない	2	28.6%
思わない	0	0%
合計	7	100.0%



(主な理由)

「思う・概ね思う」

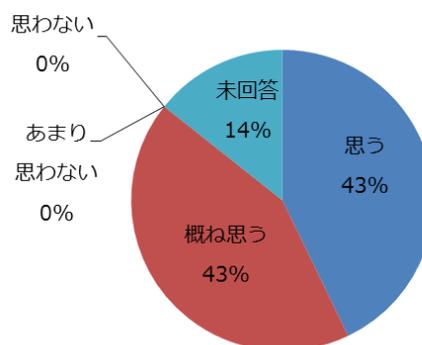
- ・地域の方やツアー参加者と交流できるだけでなく、訪れた地域の文化を理解するよい機会になると思う。
- ・地域の方やツアー参加者と出会い、一緒に活動できるすばらしい機会だと思う。
- ・冬に雪が降らない地域の外国人にとっては、ほとんど雪はねを経験したことがないので、雪はねは魅力的な体験メニューになると思う。

「あまり思わない」

- ・冬に雪が降る地域の外国人にとっては、雪はねは日常的に行っているものであるから。
- ・日本語がわからない外国人にとっては、サポート（通訳など）がなければ、参加するのは難しいと思う。

○外国の家族や友人などに、「雪はね」ツアーを勧めたいと思いますか？

	人数	割合
思う	3	42.9%
概ね思う	3	42.9%
あまり思わない	0	0%
思わない	0	0%
未回答	1	14.3%
合計	7	100.0%



(主な理由)

「思う・概ね思う」

- ・外国人が、地域の方と会って話すなど交流できる機会はそんなに多くないから。
- ・今回のツアーでの雪はね体験が、ものすごく楽しかったから。
- ・雪はねに興味がある外国人は多いと思うから。
- ・日本語を理解できる方と一緒に参加できる外国の友人には、このツアーを勧めたい。

(7) オープンデータ勉強会 (H28.2.19 開催)

■ 目的

自治体によるオープンデータ推進の目的や意義を学び、自治体が保有する情報の価値や情報を活用した官民共働の可能性について考える。

■ 取組内容

オープンデータ推進に取り組む自治体職員と活用実績のある民間事業者を講師として招き、勉強会を実施。

○特別講演「難しくない！これから始めようオープンデータ！」

講師：後志総合振興局森林室森林整備課森林土木係長 喜多 耕一 氏
(平成 27 年度プロポーザル型政策形成事業サブリーダー)

○活用事例紹介「地方創生に対する日本ユニシスの取り組み」

講師：日本ユニシス(株)エコシステム推進事業部サービス事業企画部
チーフ・スペシャリスト 三善 直樹 氏

○意見交換会「オープンデータの活用方法を考えよう！」

⇒参加者同士の少人数グループで、意見交換を実施

■ 参加者

- ・北海道職員 (12 名) ・札幌市職員 (9 名)
- ・北海道、札幌市を除く道内自治体職員等 (20 名) ・みらい会議メンバー (10 名)

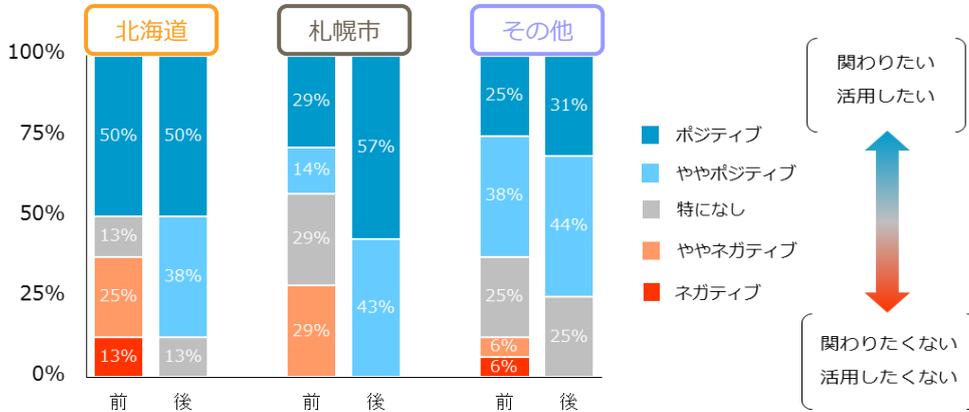


■ 成果

- ・全国でも有数の先進自治体である横浜市での活用事例を学んだことで、参加者がオープンデータ推進の意義、有用性について具体的なイメージを掴むことができた。
- ・意見交換を行ったことで、他部署、他市町村の保有する情報についての相互理解が進み、自治体が保有する情報の価値を考え直すきっかけとなった。

参加者の声

○勉強会前後でのオープンデータについての印象（事後アンケートより）



《勉強会『後』の印象の理由》

- ・「難しそう」「費用・手間がかかりそう」といった印象を持っていたが、その印象が和らいだ
- ・オープンデータにすることのメリットや、活用する具体的なイメージが掴めたなど

○オープンデータの活用アイディア（意見交換より）

- ・事故・火災発生エリア別情報は、防災対応やまちづくりに活用できそう。
- ・職員録をオープンデータにすると、自治体にとってはメリットが多そう。
- ・防災関係（津波での浸水域など）は公開しておけば、有事の際迅速な対応が期待できる。
- ・移住希望者への情報提供としての、空き地・空き家情報の公開。
- ・登別の温泉情報をオープンデータにし、登別温泉のPRに繋げたい。
- ・既往歴・介護情報と救命救急分野との連携。
- ・森林生態系の情報とクマ出没情報を連携し、登山マップに活用。
- ・官公庁オークションの情報を公開し、PRに繋げたい。
- ・空き店舗情報や交通量情報の公開による、新規事業検討者への迅速な情報提供。
- ・自治体の総合戦略などの計画のバックデータの公開。
- ・ラウンドテーブルミーティングで集めた地域課題を公開することによる、課題の認識・共有化。

(8) Facebook ページの開設・運営

■目的

みらい会議についての情報を、より多くの方々（自治体、民間企業、一般市民等）に発信・拡散させることで、みらい会議に興味を持って頂ける方を増やし、取組への参加や協力を促進する。

■取組内容

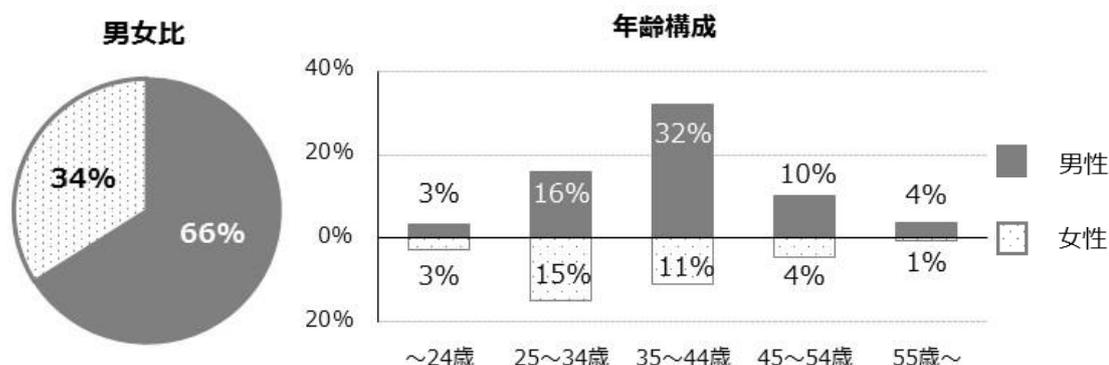
Facebook ページを開設し、投稿を行う運営チームを編成（北海道職員 3 名、札幌市職員 2 名）。みらい会議の取組の周知や実施報告だけでなく、実施に至るまでの過程等、みらい会議に関する様々な情報を発信する。

■取組結果

開設（平成 27 年 9 月 28 日）～平成 28 年 3 月 1 日時点

- ・ Facebook ページへの「いいね！」数 : 270
- ・ 総投稿数 : 42
- ・ 各投稿へのリーチ数 : 500～2,500

Facebook ページへ「いいね！」を押した方の属性



■成果

- ・ みらい会議の取組内容のリアルタイムでの発信や、投稿に対するアクション（いいね！やコメント等）といった双方向コミュニケーションにより、みらい会議の存在をより身近に感じて頂く機会となった。
- ・ SNS の拡散効果により、みらい会議の取組をより多くの方々に知って頂くことができた（Facebook ページに「いいね！」を押した方の中には、道外や国外の方も数名存在）。

Facebook ページ

○ページ名：北海道・札幌市政策研究みらい会議

(URL) <https://www.facebook.com/h.s.miraikaigi/>

北海道・札幌市政策研究みらい会議

北海道・札幌市政策研究
みらい会議
地域団体

「いいね！」しています ▼ メッセージ ...

タイムライン 基本データ 写真 いいね！ 動画

270人が「いいね！」と言っています

友達に「いいね！」をリクエスト

情報 >

- 北海道・札幌市政策研究みらい会議さんの住所をリクエスト
- 北海道・札幌市政策研究みらい会議の電話番号をリクエスト
- <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ssa/mirai.htm>
- 所有者情報 [?]

写真 >

北海道・札幌市政策研究みらい会議さんが写真3件を追加しました。
2015年11月6日 · 🌐

【開催レポート】女性勉強会@みらいカフェCOCORO
11月4日、北海道と札幌市の女性職員を対象とした勉強会を開催しました！
今回のテーマは「ハッピートーク®を用いた話し方のコツ」について。...
もっと見る

5 今年度の活動を終えて

平成 27 年度の北海道・札幌市政策研究みらい会議は例年より遅い 7 月からの活動となり、北海道と札幌市の職員 13 名が、ほぼ「はじめまして」の状態から、何度も議論を重ね、幅広い分野から 8 つの取組を実践することができました。

みらい会議は「両組織間の未来を担う人的ネットワークの充実」、「次代の活性化につながる地域政策の創造」を目的としていますが、「人的ネットワークの充実」という視点では、クラウドファンディング勉強会・オープンデータ勉強会において、道と市の職員はもちろん、他市町村や国の機関・観光協会など、様々な組織の方にご参加いただき、勉強会後の交流会の開催を含め、みらい会議をハブとした人と人とのつながりの場をつくることのできたのではないかと考えています。特に、滝上町や函館市など遠方の自治体からも多くの方にご参加いただき、つながりを持てたことは大変うれしく思っております。

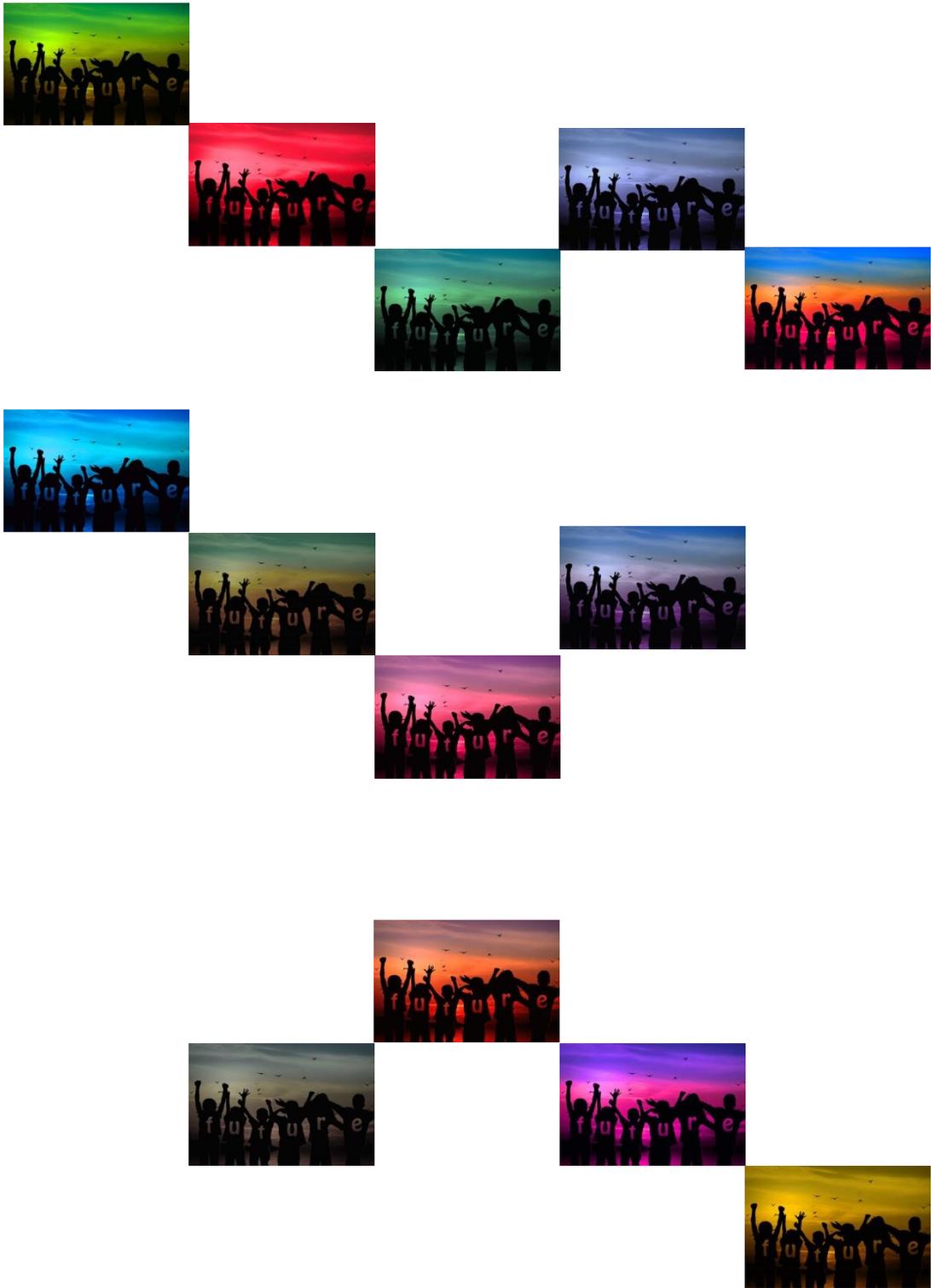
また、「地域政策の創造」という視点では、インバウンド資源の可能性等について検討するため、外国人と一緒に地域に飛び出し「雪はね」を行うなど、これまでのみらい会議にない新たな取組を行うことができました。

メンバーの中には、イベントの企画・運営といった業務に携わったことのない者もあり、試行錯誤を繰り返しながらの活動でしたが、メンバー全員で考え、悩み、実践した経験、そして、みらい会議の活動に興味を持っていただいた多くの方々とのつながりを持てたことは、私たちにとって大きな財産になりました。

今年度のメンバーは解散し、4 月以降、新たなメンバーでの活動が続いていくこととなりますが、今後もみらい会議の活動をきっかけに、地域の活性化を目指す多くの皆様がつながり、新たな価値の創造に結びついていくことを期待いたします。

最後になりますが、各取組にご参加いただいた皆様、企画の段階からご協力いただきました民間企業、団体の皆様に心より感謝申し上げます。

平成 28 年 3 月 北海道・札幌市政策研究みらい会議



平成 28 年 3 月発行

[お問い合わせ先]

北海道総合政策部政策局 電話 011-231-4111 (21-275)
札幌市市長政策室政策調整課 電話 011-211-2206